

国道1号北勢バイパス 要望書



市道日永八郷線～国道477号バイパス間(延長4.1km) 令和6年度開通見込み

令和4年7月

北勢バイパス建設促進期成同盟会

会長 森 智広

四日市商工会議所

会頭 種橋 潤治

要 望 書

平素は、北勢バイパスの整備促進につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

国においては、防災・減災対策や老朽化した社会インフラ対策など、国土強靱化の推進を重点的に取り組まれております。

私ども同盟会会員市町といたしましても、防災・減災対策や道路施設の老朽化対策など、住民生活の基盤となる安全・安心なまちづくりに積極的に取り組んでいるところです。

四日市市を中心とした北勢地域は、石油化学・半導体・自動車をはじめとした多様な産業が集積し、国際拠点港湾四日市港と高速道路網が相まって、我が国の経済・物流を支える拠点地域となっています。

しかしながら、日常的に発生している国道1号、23号の**渋滞**は、**経済活動の阻害要因**となり、**生活環境の悪化**にもつながっています。

また、南海トラフ巨大地震による津波浸水において、第1次緊急輸送道路に指定されている国道1号、23号で浸水被害が予測されています。北勢バイパスの整備により、第1次緊急輸送道路が拡充され、防災拠点間の連絡経路が確保されるとともに、津波浸水域を迂回した道路啓開ルートが形成され、**防災**の面からも津波浸水被害を受ける恐れのある国道1号、23号に代わる**緊急輸送道路(命の道)**として、北勢バイパスの早期整備が必要です。

一方、北勢バイパスが開通した区間においては、**沿線企業の設備投資や新たな雇用創出などのストック効果**が現れており、広域的な道路ネットワークの形成が、地域経済の発展のために、ますます重要性を増しております。さらに、三重県全体を考えた場合、県内の南北軸として北勢バイパス、鈴鹿四日市道路及び中勢バイパスが共に整備されることで、**県全体としてのさらなる整備効果も最大限発揮**されます。

よって、北勢バイパスの整備をはじめ、産業活動と住民の安全・安心な生活を支える各種道路整備並びに道路インフラの老朽化対策に必要な予算を確保されるよう右記の通り強く要望いたします。

記

1. 北勢バイパスは、新たな道路ネットワークの構築による経済の好循環を図り、新規企業の進出や企業の設備投資などの産業面のストック効果を更に高めることから、早期全線開通に向けて必要な事業費を確保すること。
2. 令和6年度の開通見通しが公表されている市道日永八郷線～国道477号バイパス間について、一日でも早く開通を図るよう事業を加速させること。
3. 国道477号バイパス～四日市市采女町(国道1号)間においても早期の整備に向けた調査設計を推進すること。
4. 鈴鹿四日市道路の整備を推進すること。
5. 道路の老朽化対策及び地方が必要とする道路整備・管理を長期安定的に進めるため、新たな財源を創設するとともに、道路関係予算の総額を確保すること。
6. 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を確保し、計画的に事業を推進するとともに、5か年加速化対策後も、予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと。

北勢バイパス建設促進期成同盟会 会長 森 智広

会員市町 四日市市長 森 智広 鈴鹿市長 末松 則子
朝日町長 矢野 純男 川越町長 城田 政幸
菰野町長 柴田 孝之

四日市商工会議所

会頭 種橋 潤治

北勢バイパスの早期整備について

【事業中区間】

○市道日永八郷線～国道477号バイパス

一日も早い開通

北勢バイパスが国道477号バイパスを通じて、新名神高速道路と早期につながることで、道路ネットワークが飛躍的に向上

○国道477号バイパス～国道1号(四日市市采女町)

事業推進

○鈴鹿四日市道路(国道1号(四日市市采女町)～中勢バイパス(鈴鹿市稲生町))

三重県内の道路の南北軸を形成(国道23号とダブルネットワーク化)

事業推進



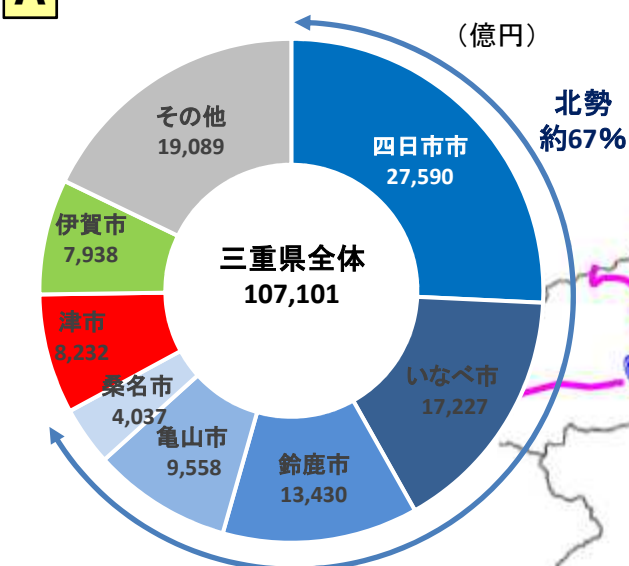
北勢バイパスの早期整備による効果は絶大！

- (1) 三重県の北部(北勢地域)に多くの産業が集積する中で、特に四日市市・鈴鹿市は産業・物流の拠点地域。(下記A, B)
- (2) 四日市港(国際拠点港湾)の利用促進、国際競争力の強化。
- (3) 国道1号、23号の渋滞緩和は、円滑な産業・物流活動を促進し、生活環境も向上。
- (4) 沿線に企業(工場)の新規立地や設備投資が進展し、地域経済の発展等、ストック効果が発現。(下記C)
- (5) 鈴鹿四日市道路の整備による、北勢バイパスと中勢バイパスの接続は、三重県内の南北主要幹線道路のダブルネットワーク形成につながり、三重県全体への波及効果大。

➡ **生産性向上による成長力の強化！**

- (6) 南海トラフ巨大地震による津波浸水被害が想定される国道1号、23号に代わる緊急輸送道路として機能。
➡ **国土強靱化に寄与！**

A R1 三重県市町別製造品出荷額等



C 沿線の企業 KIOXIA(株)四日市工場



B 全国の都市の中で第10位

R1 製造品出荷額等の市町ランキング

順位	市	製造品出荷額等
1	豊田市	15兆3569億円
2	市原市	4兆4380億円
3	倉敷市	4兆3772億円
4	川崎市	4兆2012億円
5	横浜市	4兆 548億円
6	大阪市	3兆8212億円
7	堺市	3兆6316億円
8	名古屋市	3兆5777億円
9	神戸市	3兆4398億円
10	四日市市	3兆2652億円

■ 津波浸水区域(施設なし) 三重県 平成23年版予測
 ■ 主要渋滞箇所(1/7) 三重県道路交通渋滞対策推進協議会

北勢バイパス建設促進期成同盟会

SUZUKA
KOMONO
YOKKAICHI
ASAHI
KAWAGOE

©TEZUKA PRODUCTIONS

ひらく つながる みえの未来へ

1 北勢バイパス